



Auracast™ トランスミッター/レシーバー

HA-P100

取扱説明書

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

この取扱説明書は、お読みになった後も、いつでも見られるところに保管してください。

安全上のご注意

取扱説明書には、お使いになる方や他の方への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。以下の注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。

注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の2つに区分しています。

！ 警告

この指示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

！ 注意

この指示を無視して誤った取り扱いをすると、障害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

！ 警告

- 本製品を火の中へ投入しないでください。
- 高温になる場所で充電、使用、放置をしないでください。直射日光の当たる場所、炎天下の車内、暖房器具の近くなどは避けてください。発熱・発火・故障の原因となります。
- 水やコーヒーなどの液体、金属片や燃えやすいものなどの異物が内部に入らないようにしてください。万が一、内部に入ってしまった場合は、すぐに電源を切り、充電中の場合はケーブルを抜いてください。そのまま使用を続けると、火災や感電、故障の原因となります。
- 防水・防塵・防滴仕様ではありません。雨天時、風呂場、台所、ほこりの多い場所など、水や湿気、油、ほこりがかかる可能性のある環境での使用は、火災や感電、故障の原因となるため絶対におやめください。
- 小さなお子様の手の届く場所には、本製品や付属品を置かないでください。万が一、本体や小さな部品を飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。また、充電ケーブルが首に絡まると窒息のおそれがあります。
- 充電端子や接続端子の近くに、コイン、鍵、ヘアピン、ネックレスなどの金属類を置かないでください。端子に触れてショートし、発熱や発火、故障の原因となるおそれがあります。
- 万一、筐体を破損した場合は、ただちに使用を中止し、修理を依頼してください。そのまま使用すると火災の原因となります。
- 雷が鳴りだしたら、本体や充電ケーブルに触れないでください。感電の恐れがあります。
- 煙が出る、異臭がする、水や異物が入った、破損した等の異常がある時は、充電中の場合は直ちに充電ケーブルを抜き、修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。
- 分解や改造を行わないでください。お客様が保守できる内部にはありません。分解や改造は保証期間内でも保障の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となります。

！ 注意

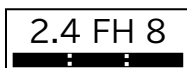
- 本製品を落下させたり、ぶつけたり、圧力をかけたりするなど、強い衝撃を与えないでください。製品の破損や故障だけでなく、内蔵充電池の変形・発熱・発火の原因となり大変危険です。
- 本製品は電波を使用しています。心臓ペースメーカーなどの医療機器の近くでは、医療機器の動作に影響を与える可能性があります。事前に医師や医療用電気機器製造業者または販売業者にご相談ください。
- 医療機関内や航空機内で使用しないでください。電波の影響によって機器が誤作動し、事故の原因になる恐れがあります。
- 本製品を、自動ドア、火災報知器、その他の自動制御機器の近くで使用しないでください。本製品が発する電波がこれらの機器に影響を与え、誤動作を招き、思わぬ事故につながる可能性があります。
- 配線は説明書に従って正しく行ってください。誤配線によるショート等は火災の原因となります。
- お手入れの際は、必ず電源を OFF にしてください。ベンジンやシンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。
- 本製品は、日本国内の電波法に基づいて設計・認証されています。そのため、海外での使用はできません。海外で利用した場合、各国の法律により罰せられることがあります。

使用上のご注意

本製品をより快適にご使用いただくために、以下の点にご注意ください。

電波に関する注意

- 本製品は 2.4GHz 帯の電波を使用しています。変調方式として FHSS(周波数拡散方式)を採用し、想定される与干渉距離は約 80m 以下です。移動体識別装置の帯域を回避することはできません。



- 本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けた特定無線設備です。したがって本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。製品本体またはパッケージに技適マークおよび認証番号が表示されていますのでご確認ください。
ただし以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
 - ・ 本製品を分解・改造すること。
- 本製品は 2.4GHz 帯の電波を使用しています。この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の生産ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。
 - ・ この機器を使用する前に、近くでこれらの無線局が運用されていないことを確認してください。
 - ・ 万一、本製品から上記の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、使用を中止してください。
 - ・ 不明な点、その他お困りのことが起きた時は、弊社カスタマーサポートへお問い合わせください。
- 下記の電子機器と本機との距離が近い場合、電波干渉により正常に動作しない、または雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
 - ・ 2.4GHz 帯の周波数を使用する無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話機などの機器。
 - ・ ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CS チューナー、VICS などアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。
 - ※ 映像や音声にノイズが乗ることがあります。
- Auracast のブロードキャストオーディオは、受信範囲内にいる不特定多数の Bluetooth LE Audio 対応機器で受信可能です。公共の場所でプライベートな音声をブロードキャストする際はご注意ください。必要に応じて、暗号化されたブロードキャストをご利用ください。また、重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

接続機器について

- 本製品に接続するオーディオ機器や Bluetooth 受信機器(イヤホン、スピーカーなど)の取扱説明書も合わせてお読みください。
- すべての Bluetooth 機器との接続を保証するものではありません。
- 接続する Bluetooth 送受信機器が Bluetooth LE Audio および Auracast に対応している必要があります。

その他の注意

- 本製品は 128bit のキーを使用した伝送暗号化機能がありますが、第三者による傍受に対してセキュリティを保証するものではありません。
- 高電圧送電ケーブル、携帯電話、ブラウン管、テープレコーダー等の強電磁界付近への設置は避けてください。外部からの誘導電界は音声回路に悪影響を与えます。
- 本製品の仕様や外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

本製品を廃棄するときは



この製品には、リチウムイオン充電電池が内蔵されており、リサイクルが可能です。

危険:お客様による分解・交換は絶対におやめください

本製品は、事故防止のため、お客様自身で内蔵充電電池の取り外しや交換ができない構造になっています。無理に取り外そうとすると、発火や破裂、けがの原因となり大変危険です。また、お客様自身で分解された製品は、保証の対象外となります。

充電性能の低下や廃棄など、内蔵充電電池に関するご相談は、ヒビノ株式会社 ヒビノマーケティング Div. カスタマーサポートまでお問い合わせください。

シリアル番号の確認方法

本製品のシリアル番号は、専用ソフトウェア上で電子的に表示されます。以下の手順でご確認ください。

1. 本製品とパソコンを接続します。
2. 「Auracast デバイスマネージャー」を起動します。
3. [基本情報]タブを選択すると、シリアル番号が表示されます。

目次

安全上のご注意.....	2
使用上のご注意.....	3
目次	5
主な特徴	6
各部の名称と機能	7
セットアップ	9
仕様	17
履歴	18

主な特徴

本製品は、Bluetooth® Auracast™テクノロジーを搭載し、多様な入力オプションとシンプルな操作性を兼ね備えた業務用途にも最適なオーディオトランスミッター／レシーバーです。簡単な操作で高品質な音声を複数の人との音声共有を実現します。

Auracast™ブロードキャストオーディオ対応：多人数へ一斉音声送信

1つの音源から、Auracast™対応の複数のBluetooth®イヤホン、スピーカー、補聴器などへ同時にワイヤレスで音声を送信。

講演会やセミナーの参加者、施設内の特定グループなど、受信人数に制限なく(※)同一のオーディオ体験を提供できます。

送信・受信を手軽に切り替え

簡単な操作で、送信機(トランスミッター)と受信機(レシーバー)の機能を簡単に切り替えられます。

高音質・低遅延を実現する Bluetooth® LE Audio

最新の Bluetooth® LE Audio 技術と高効率オーディオコーデック「LC3」を採用。

従来の Bluetooth®オーディオと比較して、遅延を大幅に抑えつつ、よりクリアで忠実な音声を伝送。番組制作時の音声送り返しなど、音質とタイミングが重視される業務にも最適です。

電源 ON ですぐ使える、徹底的にシンプルな操作性

操作部を極力シンプルに設計。専門的な知識がない方でも直感的に操作でき、電源を入れればすぐに使用を開始できます。

迅速なセットアップが求められるイベント現場や、どなたでも簡単に使えることが重要な公共施設などでの運用に適しています。

特定チャンネルの受信設定(フィルタリング)

本製品は、複数の送信機から希望の送信機の音声のみを受信するフィルタリング機能を備えています。この設定を行うことで、受信機が意図しない音声を受信することを防ぎ、安定した運用を実現します。

128bit 暗号キーによるセキュアな音声配信

専用アプリケーションを使用して 128bit の暗号キーを設定可能。

機密性の高い会議内容や、限定されたメンバー間での情報共有など、セキュアなコミュニケーションが求められる場面でも安心してご利用いただけます。

USB-C によるスマートな給電と接続

USB-C ポート給電に加え、USB-C オーディオ入力時は、対応機器とケーブル 1 本で音声入力と電源供給を同時に行えるため、配線をシンプルに保てます。

多様な業務シーンで新たな音声ソリューションを提供

これまで音声提供が難しかったデジタルサイネージや展示物への音声付加。

騒がしい番組制作現場でのスタッフへのクリアな指示伝達(送り返し)。

講演会や国際会議での多言語同時通訳の配信。

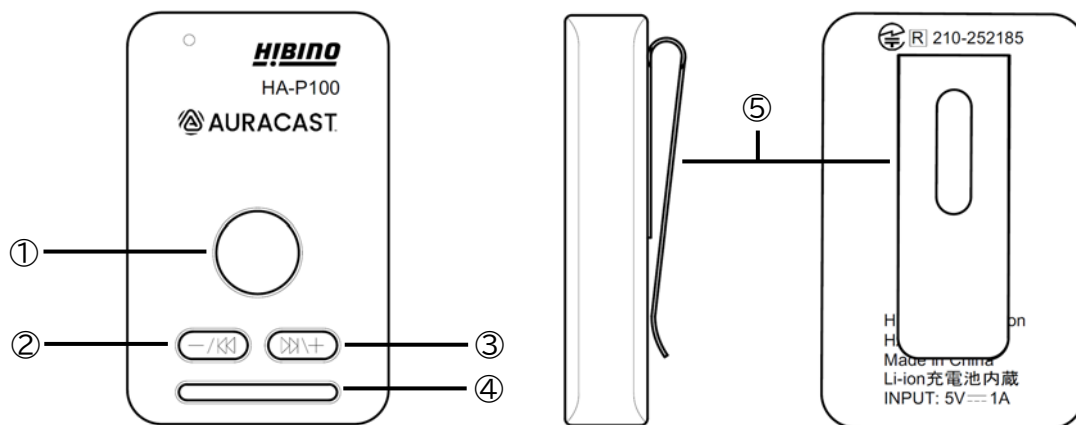
スポーツバーやパブリックビューイングでの臨場感あふれる音声共有など、小規模から大規模まで、様々な業務用途で音のバリアフリーと新たな価値を創造します。

(※)受信可能な人数は理論上無制限ですが、実際の接続可能数は周囲の電波環境や受信機器の性能によって変動する場合があります。

各部の名称と機能

ここでは、本機の各部の名称と機能について記載します。

■ 操作部



① マルチファンクションボタン(MFB)

電源のオン/オフ、リスキャンなど、本製品の主な操作を行うボタンです。

ボタンの操作と、それに対応する機能は以下の表のとおりです。

操作	機能
長押し(電源オフ時)	電源オン(LED が点灯するまで押し続けてください)
ダブルクリック(受信機モード・音声受信時)	ミュート
ダブルクリック(受信機モード・ミュート時)	リスキャン ¹ & ミュート解除
長押し(電源オン時)	電源オフ(LED が消灯するまで押し続けてください)

② ボリューム/チャンネル “-”ボタン

③ ボリューム/チャンネル “+”ボタン

受信ボリューム及び受信チャンネルのアップ/ダウン操作を行うボタンです。

ボタンの操作と、それに対応する機能は以下の表のとおりです。

操作	機能
+/- 短押し	受信ボリューム アップ/ダウン
+/- 長押し	受信チャンネル アップ/ダウン

④ ステータスインジケータ

本機の状態を表示するインジケータです

¹ リスキャンは、周囲の Auracast の送信機リストを最新情報に更新する操作です。新しく開始された放送の検出、終了した放送の削除、放送名や言語などの情報更新を行います。

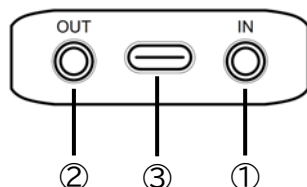
LED 表示と内容は以下の表のとおりです。

LED 表示	内容
点滅(青)	音声受信(受信機モード時)
点滅(赤青同時)	音声ミュート(受信機モード時)
3 回点滅を繰り返す(青)	受信待ち(送信機リストにある送信機を探している状態)
早い点滅(青)	送信機検索中(送信機が見つからない状態)
点滅(赤)	送信中(送信機モード時)
点灯(赤)	充電中
点灯(青)	充電完了

⑤ クリップ

本機を固定するクリップです

■ 端子部



① 音声入力

送信機モード時に使用する $\phi 3.5\text{mm}$ ステレオミニジャック方式の音声入力端子です。
ラインケーブルを使用して、各種再生機器を接続してください。

② 音声出力

受信機モード時に使用する $\phi 3.5\text{mm}$ ステレオミニジャック方式の音声出力端子です。
ラインケーブルを使用して、イヤホン等を接続してください。
送信機モード時には送信している音声のモニタリングが可能です。

③ USB-C 入力

USB-C 仕様の音声入力端子です。USB2.0 に準拠しています。
USB オーディオ入力端子として各種再生機器を接続できます。
また、本端子から電源も供給されます。

【ご注意】

【使用する充電器について】

本製品の USB-C ポートは、USB Power Delivery(USB-PD)という急速充電規格には対応していません。
そのため、USB-PD 対応の充電器をご利用の場合、USB-C ポートからでは正しく充電されない可能性があります。その場合は、充電器に搭載されている通常の **USB-A** ポートから充電をお試しください。

セットアップ

ここでは、本機のセットアップの方法について説明します。使用までの流れは以下の通りです。

本製品は、1 台で音声の送信と受信の両方を行えるよう、以下の 2 つの動作モードを備えています。

- 送信機(トランスミッター)モード: Auracast 音声を送信する
- 受信機(レシーバー)モード: Auracast 音声を受信する

以下、各モードについて詳しく説明します。

■ 送信機(トランスミッター)モード

- ① Auracast デバイスマネージャーで初期設定を行う

↓

- ② 入力端子に各種再生機器を接続する

↓

- ③ デバイスの送信状態を確認する

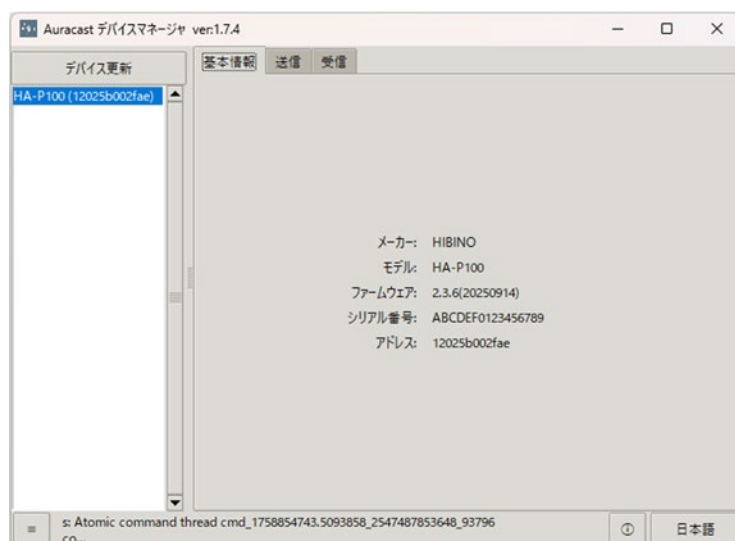
① Auracast デバイスマネージャーで初期設定を行う

1. 付属の「Auracast デバイスマネージャー(AuracastDeviceManager-vx.x.x.exe)」をパソコンの任意のフォルダに保存してください。
2. 電源は OFF のまま、付属の USB ケーブルで本機とパソコンを接続してください。
3. 「Auracast デバイスマネージャー」を起動してください。
4. 以下の設定画面に従って、初期設定を行ってください。

「基本情報」タブ

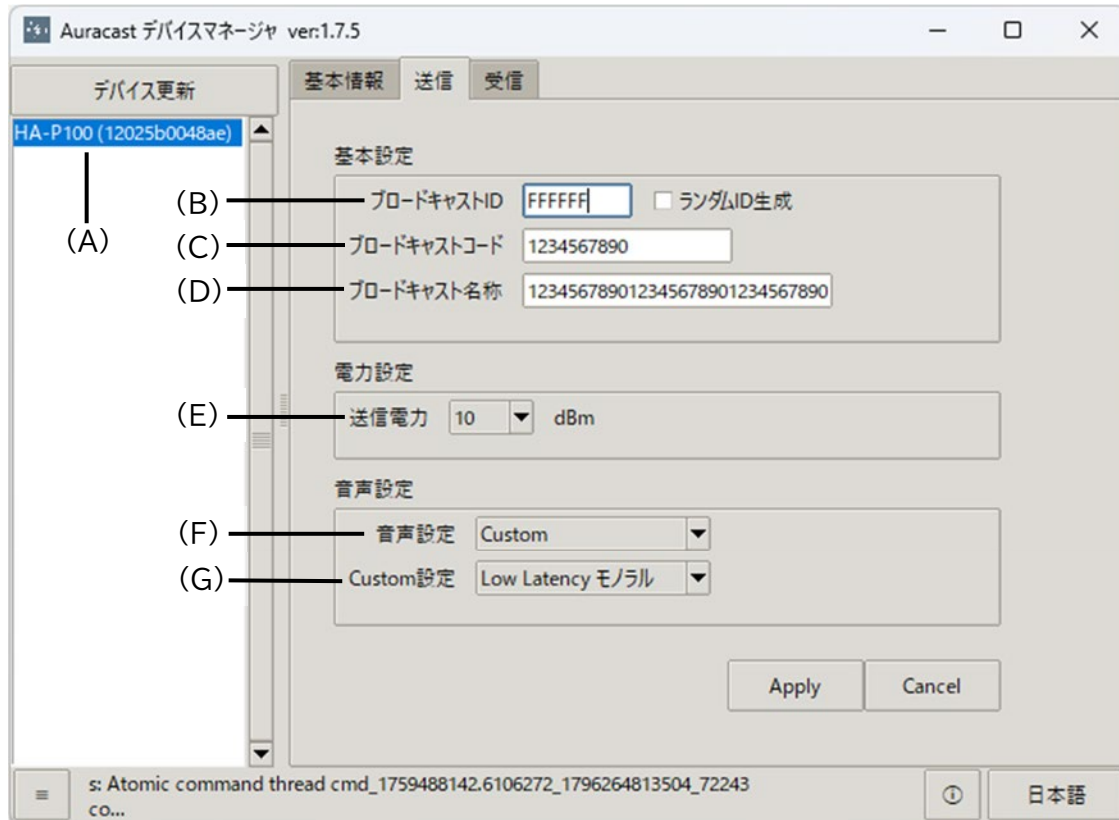
本機のファームウェアのバージョン、シリアル番号、Bluetooth アドレスが確認できます。

このタブで設定する項目はありません。



「送信」タブ

- (A) デバイス名称
- (B) ブロードキャスト ID
- (C) ブロードキャストコード
- (D) ブロードキャスト名
- (E) 送信電力
- (F) 音声設定
- (G) カスタム設定



- (A) デバイス名称

現在接続されている装置の型名が表示されます。

- (B) ブロードキャスト ID²

ブロードキャスト ID の設定を行います。

受信機でブロードキャスト ID を使用した送信機のフィルタリングを使用しない場合は「ランダム ID 生成」にチェックを入れてください。

使用できる文字は“0～9”および“A～F”です(大文字・小文字の区別はありません)。

6 文字の ID を設定してください。

² ブロードキャスト ID とは、Auracast のセッションを識別するための ID です。受信側は、この ID を使って目的のブロードキャストストリームを見つけ、正しく参加・復号するための手がかりにします。

(C) ブロードキャストコード³

ブロードキャスト信号の暗号化に使用する共通鍵文字列の設定を行います。

使用しない場合は空欄にしてください。

使用できる文字は英数字および記号(半角)です。半角 4 文字以上 16 文字以内で設定してください。

(D) ブロードキャスト名称⁴

アシスタントアプリ等に表示される送信機の名称を設定します。

空欄にはしないでください。

使用できる文字は英数字・記号(半角)および日本語(全角)です。

半角 4 文字以上 30 文字以内、または全角 2 文字以上 10 文字以内で設定してください。

(E) 送信電力

本機の送信出力を設定します。

プルダウンメニューにより、10dBm(10mW)～-16dBm(25μW)まで設定可能です。

(F) 音声設定

送信機モードで使用する音声モードを設定します。

プルダウンメニューにより、4 種類の音声モードが設定可能です。

各音声モードの詳細は以下の通りです

音声モード名称	サンプリング周波数	モノラル/ステレオ	レイテンシ
Low Latency	24kHz	ステレオ	73ms
Compatibility	16kHz	モノラル	120ms
High Quality	48kHz	ステレオ	120ms
Custom	(F) カスタム設定で設定した音声モード		

(G) Custom 設定

音声モード設定を「Custom」に設定した時の音声モードを設定します。

プルダウンメニューにより、4 種類の音声モードが設定可能です。

各音声モードの詳細は以下の通りです

音声モード名称	サンプリング周波数	モノラル/ステレオ	レイテンシ
Low Latency モノラル	24kHz	モノラル	73ms
High Quality モノラル	48kHz	モノラル	120ms
HQ 低遅延	48kHz	ステレオ	87ms
HQ 低遅延 モノラル	48kHz	モノラル	87ms

³ ブロードキャストコードとは、Auracast を暗号化する際に用いる「パスコード/共有秘密」のことです。受信側はこのコードを知っていないと、放送の復号鍵を導出できず、音声聞くことができません。公開ブロードキャストでは不要ですが、保護された放送(Encrypted Broadcast)では必須です。

⁴ ブロードキャスト名とは、Auracast をユーザーが識別しやすいように表示するための人間可読な名前です。いわば「放送の見出し・タイトル」で、スキャン時に端末が一覧表示する際のラベルとして使われます。

② 入力端子に各種再生機器を接続する

ご使用になる再生機器を、本機の「音声入力」または「USB-C 入力」に接続してください。

■ 音声入力端子

φ3.5mm のステレオまたはモノラルミニジャックのラインケーブルを使用し、各種再生機器と接続してください。

■ USB-C 入力端子

● 音声入力として使用する場合

USB2.0 に準拠したケーブルを使用し、USB オーディオ再生機器と接続してください。

デバイス名は[HA-P100]です。

この場合、電源も再生機器側から本機に供給されます。

● 電源入力としてのみ使用する場合

USB-C 端子に電源を供給してください。

【ご注意】

【最大入力レベルについて】

本機の最大入力レベルは 0dBu です。

再生機器からの出力レベルが最大入力レベルを上回らないようにご注意ください。

出力レベルが高い場合、音声が歪む原因となります。

【使用する充電器について】

本製品の USB-C ポートは、USB Power Delivery(USB-PD)という急速充電規格には対応しておりません。

そのため、USB-PD 対応の充電器をご利用の場合、USB-C ポートからでは正しく充電されない可能性があります。その場合は、充電器に搭載されている通常の USB-A ポートから充電をお試しください。

③ Auracast 信号を送信する

ステータスインジケータが赤く点滅するまで、マルチファンクションボタンをダブルクリックします。

■ 受信機(レシーバー)モード

① Auracast デバイスマネージャーで初期設定を行う

↓

② 出力端子にイヤホン・スピーカー等を接続する

↓

③ デバイスの受信状態を確認する

① Auracast デバイスマネージャーで初期設定を行う

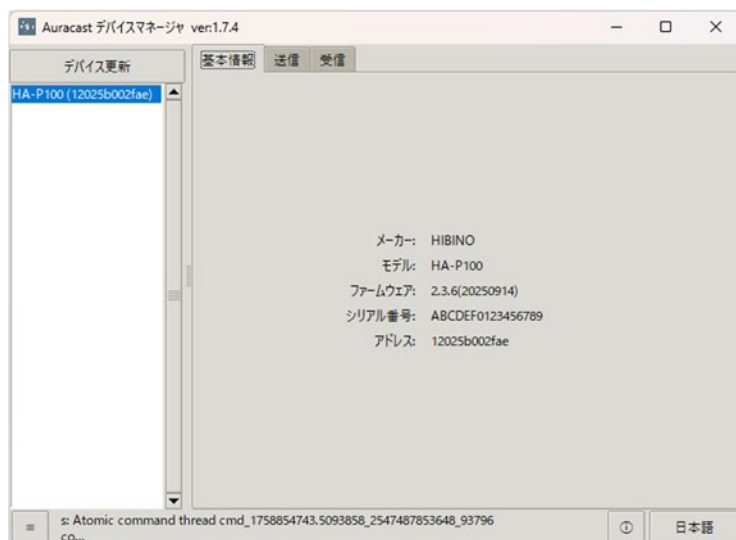
1. 付属の「Auracast デバイスマネージャー(AuracastDeviceManager-vx.x.x.exe)」をパソコンの任意のフォルダに保存してください。

2. 電源は OFF のまま、付属の USB ケーブルで本機とパソコンを接続してください。
3. 「Auracast デバイスマネージャー」を起動してください。
4. 以下の設定画面に従って、初期設定を行ってください。

「基本情報」タブ

本機のファームウェアのバージョン、シリアル番号、Bluetooth アドレスが確認できます。

このタブで設定する項目はありません。



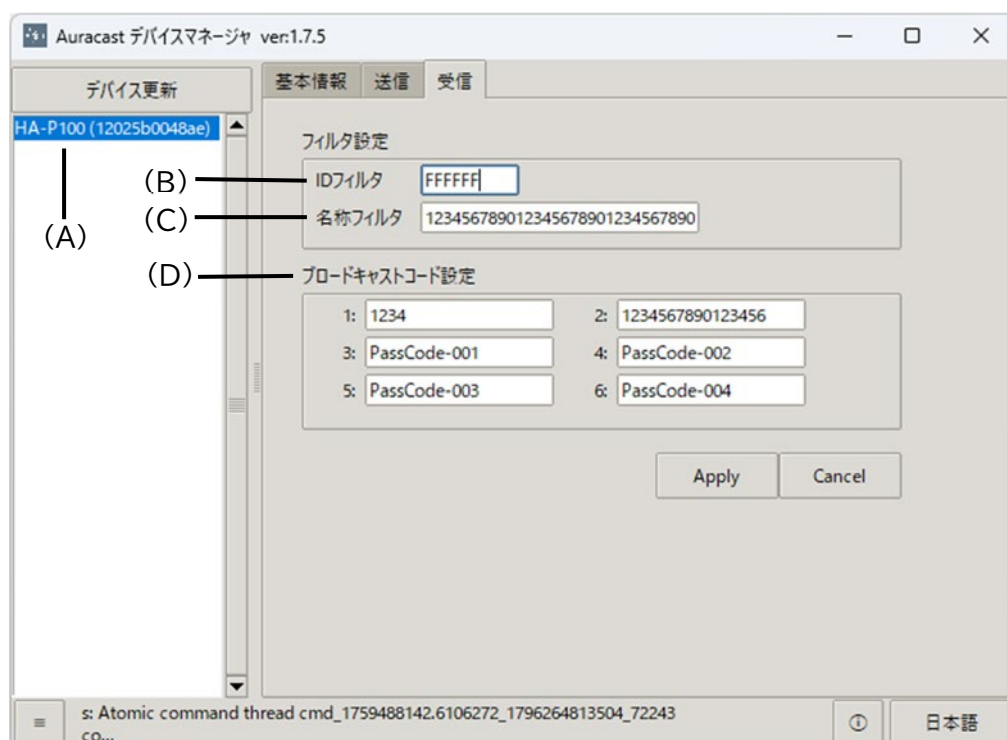
「受信」タブ

- (A) デバイス名称

(B) ID フィルタ

(C) 名称フィルタ

(D) コード設定



(A) デバイス名称

現在接続されている装置の型名が表示されます。

(B) ID フィルタ

ブロードキャスト ID⁵ を使用したフィルタリング設定を行います。

フィルタリングを行いたい送信機のブロードキャスト ID を入力してください。

使用できる文字は“0～9”および“A～F”です(大文字・小文字の区別はありません)。

6 文字の ID を設定してください。

フィルタリングは入力された 6 文字の完全一致で行われます。

このフィルタリング機能を使用しない場合は空欄にしてください。

(C) 名称フィルタ

ブロードキャスト名称⁶ を使用したフィルタリング設定を行います。

フィルタリングを行いたい送信機のブロードキャスト名のキーワードを入力してください。

使用できる文字は英数字・記号(半角)および日本語(全角)です。

半角 4 文字以上 30 文字以内、または全角 2 文字以上 10 文字以内で設定してください。

フィルタリングは入力されたキーワードの部分一致で行われます。

このフィルタリング機能を使用しない場合は空欄にしてください。

◆設定例

複数の送信機が運用されている環境で、キーワードによってどの音声を受信されるかの例です。

【各送信機の Broadcast Name】

送信機1: HIBINO-0001ch

送信機2: 0002ch-HIBINO

送信機3: Android-0001

【受信機に設定したキーワードと受信結果】

フィルタリングキーワード	受信できる送信機	解説
HIBINO-0001ch	送信機1のみ	名前に完全一致するため、送信機1のみ受信します。
HIBINO	送信機1、送信機2	HIBINO という単語が含まれる送信機1と2を受信します。
0001	送信機1、送信機3	0001 という文字列が含まれる送信機1と3を受信します。

このようにフィルタリング機能を活用することで、受信できる送信機を限定し、シンプルで確実な運用が可能になります。

⁵ ブロードキャスト ID とは、Auracast のセッションを識別するための ID です。受信側は、この ID を使って目的のブロードキャストストリームを見つけ、正しく参加・復号するための手がかりにします。

⁶ ブロードキャスト名とは、Auracast をユーザーが識別しやすいように表示するための人間可読な名前です。いわば「放送の見出し・タイトル」で、スキャン時に端末が一覧表示する際のラベルとして使われます。

(D) ブロードキャストコード設定

暗号化された Auracast 信号の復号に使用するキーワード(ブロードキャストコード⁷)の設定を行います。

使用できる文字は英数字および記号(半角)です。半角 4 文字以上 16 文字以内で設定してください。

本製品(受信機)には、最大で 6 種類の異なるブロードキャストコードを事前に登録しておくことができます。この機能により、受信機は受信した音声信号を解析し、本体に登録されている 6 つのコードの中に使用可能なものがあれば、自動で照合・適用して音声を再生します。

使用しない場合は空欄にしてください。

② 出力端子にイヤホン・スピーカー等を接続する

出力端子に φ3.5mm のステレオのラインケーブルを使用し、イヤホン等を接続してください。

③ Auracast 信号を受信する

ステータスインジケータを確認しながら、マルチファンクションボタン(MFB)、ボリューム+/- ボタンを操作し、希望の送信機からの Auracast 信号を受信します。

LED 表示と内容は以下の表のとおりです。

LED 表示	内容	操作
点滅(青)	音声受信中	+/- ボタンの短押しで 受信ボリューム アップ/ダウン +/- ボタンの長押しで Auracast チャンネル アップ/ダウン MFB ダブルクリックし、ミュート
点滅(赤青同時)	音声ミュート	MFB ダブルクリックし、ミュート解除
3 回点滅を繰り返す(青)	受信待ち (選択した送信機からの音声信号を待っている状態)	MF をダブルクリックし、一度ミュート状態にした後、再度 MFB をダブルクリックし、リスキャン ⁸ を行ってください。
早い点滅(青)	送信機検索中 (送信機が見つからない状態)	MF をダブルクリックし、一度ミュート状態にした後、再度 MFB をダブルクリックし、リスキャンを行ってください。

※ ミュートを解除する際、本機は自動的にブロードキャストの再スキャン(リスキャン)を行います。これにより、音声途切れたり、別の送信エリアに移動したりした場合でも、スムーズに受信を再開できます。

【！】音が聞こえないときは

ミュートを解除しても音声が聞こえない場合、送信機側の音声入力に問題がある可能性があります。送信機に音声が入力されているかをご確認ください。

⁷ ブロードキャストコードとは、Auracast を暗号化する際に用いる「パスコード/共有秘密」のことです。受信側はこのコードを知っていないと、放送の復号鍵を導出できず、音声を聞くことができません。公開ブロードキャストでは不要ですが、保護された放送(Encrypted Broadcast)では必須です。

⁸ リスキャンは、周囲の Auracast の送信機リストを最新情報に更新する操作です。新しく開始された放送の検出、終了した放送の削除、放送名や言語などの情報更新を行います。

【ご利用のコツ】

- 受信感度を上げるには、送信設備の近くでリスキャンしてください。
- 希望のチャンネル全てが受信できない場合は、数回リスキャンしてください。放送が周期的に広告されているため、受信タイミングにより検出できないことがあります。
- 本機はリスキャン操作を行うと最大で 30 秒間送信機を検索します。

【チャンネルがうまく見つからないときは】

- 送信側の放送が終了・一時停止している可能性があります。会場案内や機器表示でご確認ください。
- 暗号化放送の場合、正しいブロードキャストコードを入力してください。
- ノイズ源(電子レンジ、密集した無線機器)から離れてください。
- 端末の電源を一度オフ→オンしてからリスキャンしてください。

仕様

Bluetooth バージョン	5.4
コーデック	LC3
サンプリング周波数	16,24,48kHz
データ深度	16bit
チャンネル数	モノラル(Lch または Rch 分岐),ステレオ
レイテンシ	73msec(Low Latency), 120msec(compatibility), 120msec(High Quality)
最大入力レベル	0dBu
入力インピーダンス	High
周波数特性	±1dB (50Hz～16kHz) *音声モード:High Quality
THD+N	3%以下 (50Hz～16kHz) *音声モード:High Quality
SN 比	70dB 以上 (A-weighted) *音声モード:High Quality
クロストーク	65dB 以上 (8kHz) *音声モード:High Quality
空中線電力	最大 10mW
電源	内蔵リチウムイオンポリマー充電電池
消費電力(充電時)	1.5W (DC5V USB2.0)
バッテリー容量	3.7V 400mAh (1.48Wh)
充電時間	USB 充電 : 約 2 時間(90%まで充電時)
充電サイクル	約 300 回(初期容量の 80%まで低下)
動作時間	8 時間(送信機モード) 20 時間(受信機モード)
寸法(W×H×D)	38×60×12(クリップを除く)
質量	30g
付属品	USB ケーブル、イヤホン

履歴

Revision	変更内容
1.00	新規作成

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。Auracast™ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。ヒビノ株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

© 2025 Hibino Corporation. All Rights Reserved.

●商品写真やイラストは、実際の商品と一部異なる場合があります。●掲載内容は発行時のもので、予告なく変更されることがあります。変更により発生したいかなる損害に対しても、弊社は責任を負いかねます。●記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標、または商標です。